

令和3年度 中堅期保健師コンサルテーション(3 日制)プログラム 参加者募集!

組織の要(かなめ)として

～自分の活動に根拠を持ち、実践力の向上を目指す～



保健師のあるあるモヤっと!を解決したい!!

- 保健師としてスキルを身につけたいけど時間がない!
 - 今の事業をどう進めているかを考えたいけどわからない!
 - 他の保健師はどうしているのか聞きたい!
 - 地域の声を施策に生かしたい!
- ☞保健師活動をスキツとしてみよう!

考える! 気づく! 行動できる! 保健師になろう! 組織も一緒に育つ!

プログラム	日程	内容
1 日目プログラム	10 月 16 日(土) 10 時~16 時 30 分	【講義】「中堅期保健師に求められる役割」(Web にて公開講座📺) 「プログラムの目的と進め方」 10 時~12 時 講師:武蔵野大学教授 中板育美氏 【グループワーク・コンサルテーション】 各参加者の取り組みテーマ・実践計画について等
2 日目プログラム	11 月 20 日(土) 10 時~16 時	【講義】「保健活動と企画立案・実施・評価」(Web にて公開講座📺) 10 時~11 時 30 分 講師:武蔵野大学教授 中板育美氏 【グループワーク・実践報告・コンサルテーション】 ●グループワーク 事業の目的・目標を立てる●コンサルテーション
3 日目プログラム	12 月 18 日(土) 10 時~16 時	【グループワーク・コンサルテーション・プレゼンテーション】 ●グループワーク 実践報告・事業の目的・目標の修正 ●コンサルテーション●プレゼンテーション(発表)

受講対象者: 行政や地域包括支援センター、産業保健等に所属し、中堅期(概ね5年~25年)の実務経験のある保健師
全日程参加できる方 定員 20 名(申し込み先着順)

※事業の公開データを活用しますので自組織でのご了解をお願いします。データは研修のみで使用します。

※住民への聞き取りは、個人的な背景(名前や住所、生年月日など)は扱いません。

※Web 公開講座(第 1 回目・2 回目)は一般の方も Web 受講ができます。(有料)

※受講生の上司、指導保健師の方は 1 日目、3 日目にぜひご参加ください。(無料)

場 所: 公益社団法人 東京都看護協会(大江戸線 西新宿五丁目駅から徒歩 4 分)

募集期間: 令和3年6月30日(水)~9月21日(火)

応募提出書類:「職務経歴書」「応募理由書」「推薦書」を記載し、期日までに郵送してください。

事前課題: 事前課題は 9 月 21 日(火)までに提出してください。

書類等は東京都看護協会ホームページからダウンロードできます。

3 日間の受講料: 東京都看護協会会員 16,500 円 非会員 33,000 円

Web 公開講座の受講料: 1 回につき会員 2,200 円、非会員 4,400 円(受講生の上司・指導保健師の方は無料)

東京都看護協会ホームページよりお申し込みください。

問い合わせ: 公益社団法人東京都看護協会 〒160-0023 新宿区西新宿 4-2-19 電話 03-6300-5139

総務課 三原 E-mail:mihara@tna.or.jp 専務理事 渡辺 E-mail:watanabe@tna.or.jp

【中堅期保健師コンサルテーションに参加して】

藤原紀子さん（江東区城東南部保健相談所）



中堅期になり、後輩が多くなってきましたが、どういったことが中堅期としてできるのか、ここ数年ずっと悩んでいました。中堅期コンサルテーションということで、私にはちょうどいいなと思い参加しました。実際に、法的施策等情報整理や、住民への聞き取り、他の関係者に聞き取りをしたりするなかで、今回のプログラムのように、しっかり目的を持って聞くというのが、これまでの活動の中で中々できなかった部分もあったので、実態や課題が見えてきたものは大きかった。今後活動していく上で、事業を考えていくとか、今の実態をどうしていこうかというのには、やっぱり、まずは住民の話聞く、関係者の話を聞くというのがすごく大事だなというのが、改めて感じられた研修でした。

【中堅期保健師コンサルテーションに参加して】

大塚一恵さん（世田谷区下馬あんしんすこやかセンター長）

地域包括支援センターでひとり保健師として仕事をしてきたため、保健師の役割や、どうあるべきかを常に悩んできました。その答えを見つけたいと思い、自分にはハードルの高い研修であるとは思いましたが応募しました。参加させていただいてよかったです。『健康課題＝疾患』という思いに捉われていたのが、研修を通して「どのような目的で、何のため」「誰にどうなってもらいたいのか」を考えることで『健康課題＝介護予防・地域づくり』という視点に気づくことができました。研修を終えて、自分が知りたいと思っていたことを掴めた感触がありました。今回の研修で学んだことや得ることができた気づきは、今後も仕事を続けていくうえで自身に大きな励みとなると感じています。



【令和3年度 講師・アドバイザー】 中板育美氏（武蔵野大学看護学部看護学科教授）

【令和3年度 コンサルタント】

工藤恵子氏（帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科教授）

与儀恵子氏（いのち支える自殺対策推進センター 元荒川区保健師）

吉岡京子氏（柏市市民相談員 元足立区保健師）

池島美智子（元東京都看護協会保健師職能委員長）

【中堅期保健師コンサルテーションの実施にあたって】

東京都看護協会 保健師職能委員長 神楽岡 澄

平成 29 年度に特別区業務連絡会と実施した中堅後期保健師の実態調査では「施策化や事業の充実・社会資源の創出」「自区外の参加しやすい研修への環境づくり」「中堅の役割意識と職場の組織力の向上、キャリアアップの指標や体系化」などが課題とわかりました。そこで東京都看護協会は平成 31 年度中堅期保健師コンサルテーションプログラムを開催しました。集合プログラムと実践を繰り返す 6 か月は、自分の課題に向き合い、自分で切り開く苦労があったと思われませんが、最終日の自組織への提言の発表では、役割意識と達成感で満たされ、行政能力、専門能力、指導力、政策化能力の向上がみられました。職場上司の方々からも「参加させて良かった」「このプログラムを中堅期人材育成の研修として位置付ける」の声がありました。今年度は、コロナ禍の多忙な時期にあることから 3 日間の短縮版として実施することにいたしました。組織の要である中堅期の皆さん、疑問や感じていることを持ち込んで、ぜひ取り組んでください。ご一緒に学びあいましょう！！